

成田市への医学部開設に伴う千葉県への経済効果

はじめに

千葉県は医療資源に乏しい県と言われて久しい。医師数、看護師数、リハビリテーション専門職などにおいて、人口単位でみた人的医療資源は全国最下位レベルの項目が多い。医師不足については、人口が600万人を超える県でありますから、医学部が千葉大学にしかないことも、その理由の一つに挙げられてきた。

こうした中で2017年4月、成田市に国際医療福祉大学医学部が開学した。国家戦略特区制度を活用したもので、我が国の医学部新設は、1979年の琉球大学医学部開設以来38年ぶり(注)となる。また医学部附属病院の成田病院が2020年4月にオープンする予定である。

本稿では、成田市への医学部開設が、千葉県内にどのような経済波及効果を生み出すかを検証するとともに、

	医学部	成田看護学部	成田保健医学部
開設	2017年4月	2016年4月	2016年4月
定員	140(うち外国人20)	100	理学療法学科 80 作業療法学科 40 言語聴覚学科 40 医学検査学科 80
アクセス			
特徴			
<ul style="list-style-type: none"> 日本の医学教育を牽引してきたハイレベルな教授陣 ハイレベルな学生の確保(私大最低の学費・奨学生制度など手厚い学費サポート) 臨床に強い医師を養成するカリキュラムと臨床実習環境(成田を含め6つの大学附属病院) 大多数の授業で英語による教育。学生の7人に1人が留学生という国際的な学修環境 <ul style="list-style-type: none"> 国内外の多様な健康課題に対応できる「実践力」と「問題解決力を習得可能 国内外の多様な健康課題に対応できる「実践力」と「問題解決力」の習得 グローバルヘルスを重視した実践的な教育カリキュラム キャリアの実現をサポートする体系的なキャリアデザイン教育 			

(出所) 国際医療福祉大学ホームページ等から(株)ちはざん総合研究所取りまとめ

- 医学部附属病院として既存の地域医療では対応できない高度な医療を提供する(ICC、NICU(新生児集中治療室)を備える)
- 地域の診療所や病院、介護施設等とも連携して切れ目ない医療介護連携を目指す

医学部附属病院の概要

医学部生臨床実習のための医育機関として医学部附属病院が必要である。一般に医学部附属病院は教育機能(実習機能)、診療機能、研究機能の3機能のほかに、社会貢献(地域貢献)、国際化を有するといわれている。

国際医療福祉大学が富里市との市境に近い成田市畑ヶ田地区に建設中の新病院は、図表2のほか、以下の特長を備える高度急性期の病院である。

- 医学部附属病院として既存の地域医療では対応できない高度な医療を提供する(ICC、NICU(新生児集中治療室)を備える)
- 地域の診療所や病院、介護施設等とも連携して切れ目ない医療介護連携を目指す

経済効果の推計

- 推計の手法
 - 医学部・病院等開設が千葉県に与える経済的な影響(経済波及効果)は、①「建物等の建設による効果(初期投資効果)」と②「毎年の費用支出による効果(年費用効果)」に大別される。今回は、①、②の各項目別の支出額を「千
- まとめ
 - 医学部新設に続き、2020年に病院が開設されることで、千葉県内で新たに創出される需要増加額(生産誘発効果)は、約1679億円と推計。
 - 雇用誘発者数(県内)は、医学部・病院等開設に伴つもの(特区効果分)が、1万532人(初期投資効果、1万4177人、毎年費用支出効果約1149人)。

卒業生の県内医療への貢献度合いのほか、大規模急性期病院開設によって地域の安心安全度がどのように変化するかなどについて取りまとめた。

国際医療福祉大学成田キャンパスの概要

(1) 国際医療福祉大学成田キャンパスの概要

国際医療福祉大学は学校法人と医療法人とを中心とする「国際医療福祉大学・高邦会グループ」に属する私立大学で、現在では1都5県に、医療法人2、学校法人2、社会福祉法人2、関連会社3を開設し、1万名規模の教職員と9000名規模の学生を擁する巨大な医療・福祉関連グループを形成している。今回の成田での医学部開設に先立ち、2016年4月には、医学部と同じ京成公津の杜駅前に成田看護学部・成田保健医学部を開設している。3学部から成る国際医

学部の場合はとくに、第1期卒業生がどの程度の合格率を確保するかによって、大学教育への評価と受験者数が大きく変化するため、注目度が高い。同大学の既設学部は、全国平均を大きく上回る国家試験合格率を達成していることから、医学部についても合格率100%を目指した教育・指導を行ふものと考えられる。

医学部および大学病院新設が地域の安心・安全にどのような効果をもたらすかを検証するうえで、まず、地域の医療を担う

療福大学成田キャンパスの概要は図表1のとおりである。

医学部のレベルについては、第1期生の医師国家試験合格率(入学から6年後)が、その後の入学生の質に大きく影響する。このた

め、資質の高い学生の入学を促す工夫が施されている(私学最安の学費、奨学生制度など手厚い学費サポート、世界水準を上回るグローバルな授業環境)と同時に、入学後の教育・研修環境についてもソフト(我が国医学教育を牽引してきた海外経験豊富な教授陣)・ハード(世界最大級のシミュレーションセンターおよび最先端の機器を備えた学修環境)の両面で高水準の環境を整備しているのが、最大の特徴である。

(2) 国際医療福祉大学医学部における教育の特徴

医学部および大学病院新設が地域の安心・安全にどのような効果をもたらすかを検証するうえで、まず、地域の医療を担う

内外から集めるという同大学の目論みは、成功したと言つてよい。次に、入学後の教育面の特長は、同大学公表資料によると、①これまでにない水準の医学教育、②医学教育のエキスパートによる万全の国家試験対策、③国内外で



松永哲也
(株)ちはざん総合研究所
専務取締役

(注1) 東日本大震災後の特例として医学部開設が認められた東北医科薬科大学(現在は東北医科薬科大学)を除く。

図表3 経済効果算出結果の総括

(単位:億円、人)

	医学部・病院等開設による効果(特区対象)(A)			先行2学部効果(B)	A+B
	うち医学部	病院	その他(注)		
生産誘発額	1,679	246	1,271	163	142
初回(建設等)	1,477	215	1,100	163	122
年間	202	31	171	0	20
雇用誘発者数	15,326	2,228	11,542	1,556	1,289
初回(建設等)	14,177	2,017	10,604	1,556	1,153
年間	1,149	211	938	0	136
					1,285

(注)その他は、住宅建設、道路整備など。

【参考】過去のイベント等における需要増加額、売上高、消費額との比較

項目	金額	備考	
2020年東京オリンピック(注) (千葉県分)	231億円 (需要増加額) 852億円 (経済効果額)	うち施設整備はゼロ 大会運営費20億円	競技開催日数30日 (パラリンピックも含む)
2010年ゆめ半島千葉国体・ 千葉大会	247億円 (需要増加額)	うち施設整備費45億円 大会運営費76億円	施設整備費を除く需要 増加額201億円
東京湾アクアライン料金 引き下げ社会実験(千葉県分)	167億円 (需要増加額) 101.5億円 (年間需要増加額)	観光消費129.4億円 設備投資37.2億円	09年8月~11年3月の 需要増加額
【下段は参考/ (株)ちばぎん総合研究所が推計】	131億円 (年間需要増加額)	10年4月~11年3月までの年間需要増加額	圈央道が全線開通した場合の年間需要増加額

(注)千葉県内の競技開催決定前の2014年1月時点での推計値であり、その後の施設整備費・運営費の上振れ、県内での競技開催決定により、数値が上振れている可能性がある。

(出所)千葉県「ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会の経済波及効果」、東京湾アクアライン料金引下げ社会実験協議会「東京湾アクアライン料金引下げ社会実験(平成21年8月~平成23年3月)報告書」をもとに(株)ちばぎん総合研究所が作成

ちなみに、経済波及効果の扱いについては、本調査での調査結果があくまで「成田市に医学部・病院等が開設されることによる支出額を県産業連関表に入れる」として得られる「推計値」であり、産業連関表が作成時点(2011年)以降のアベノミクス進展等による経済構造の変化を織り込んでいないほか、表の中でも一定の前提を置いている箇所もあることなどから、千葉県内の事業者等の売上や雇用が必要である。また、端数処理については、四捨五入や産業部門へ賦課する過程により、個別項目値の合計が必ずしも合計額が一致しない。

年9月時点の工事費用や運営費用など(一部見込み値)に基づいて算出されているため、プロジェクトの進行に応じて、今後変わり得る点は留意を要する。

◆雇用誘発者数(県内)

雇用誘発者数(県内)は、医学部・病院等開設に伴うもの(特区効果分)が、1万5326人

(初期投資効果)1万4177人、
人、毎年費用支出効果約1149

人。先行2学部を含む全体の誘発者数が1万6615人(同じく成田市公表値(3194人)に比べ、1・02倍の規模となる(注2))。前述の経済効果発現を抑える可能性があるリスクをえて挙げれば、医療職の人材確保などが挙げられる。同大学は、成田市ほか全国に看護師・リハビリテーション専門職等教育機関を有しているほか、他県に展開するグループ内医療機関からの転勤也可能であるが、専門職とくに看護師の不足感が全国的に強い点には留意を要する。

- 医学部や新病院の開設等による地域の急性期患者の受け入れ能力は大幅に強化される。
 - 住民アンケート結果を見て も、「医療機関の選択肢が広がること」や「救急や夜間・休日診療体制の強化」、医学部附属病院としての「高度な医療水準・技術・情報が得られること」などをはじめ、幅広い項目で新病院に対する期待感が高い。
- ### 安心安全効果

(1) 定量的な効果

成田市に新たな大規模急性期病院ができることで、人口当たり

図表2 国際医療福祉大学成田病院の概要

名称	国際医療福祉大学成田病院
開業	2020年4月(予定)
病床数	642床(一般病床600、精神40、感染症2)
延床面積	105,657.76 m ²
診療科 (予定)	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、神経内科、心療内科、感染症内科、老年内科、アレルギー・リウマチ科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、移植外科、内分泌外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急診療科、歯科口腔外科

「最新」に投入することによつて、県内への経済波及効果を求めた。なお、調査の手法を選定するに当たり、文科省が公表する「大学立地の効果分析方法の検討」を参考にした。

(2) 経済効果推計結果

◆需要増加額(生産誘発効果)
国家戦略特区制度を活用して成田市に国際医療福祉大学医学部が進出し、2020年に病院が開設されることで、千葉県内で新たに創出される需要増加額(生産誘発効果)は、約1679億円と推計される(図表3)。このうち校舎や病院、住居などの建設(初期投資)に伴う需要増加が約1477億円(1回限り)。(1)、医学部や病院等(法人・個人計)が毎年支出する費用(年費用)から発生する需要増加が、約202億

■新病院イメージ図



(出所)国際医療福祉大学HP

建設地



円(毎年・(2))である。(1)と(2)は各々千葉県製造品出荷額の1・1%、0・15%に相当する。
同大学が先行して成田市に開設した2学部(成田看護学部、成田保健医学部)。2学部とも特区に基づかない)の需要増加効果は別途、約142億円(初期投資効果約122億円、毎年費用支出し効果約20億円)であり、同2学部分を加算した需要創出額は、全体で約1821億円(同各々別途、約142億円(初期投資効果約122億円、毎年費用支出し効果約20億円)に上ると推計される。
この額(1679億円)は、成田市が2013年に公表した各々千葉県製造品出荷額の1・1%、0・15%に相当する。

年の規模となる。成田市公表値(年版)、(2)医学部や病院の機能が新規に上振れた背景は、(1)産業連関表のバージョンが異なること(本稿2011年版、成田市2005年版)、(3)校舎や病院が、工事期間圧縮のための最新工法採用のほど建設時期が都内プロジェクトと重なったことから、建設单価が上振れしたこと、(4)病院建設に伴う貸家建築やMICE(学会等開催)誘発効果までは織り込んでいるないこと、など。

なお、経済効果には、中期的に需要拡大が見込まれるもの、具体的な数値設定が現時点では難しい項目(訪日客医療ツーリズムの活発化や医療関連産業の集積による効果、病院へのバス便開設に伴う道路工事・車両購入効果など)は織り込んでいない。これら需要の顕現時には、経済効果が上乗せとなる。また、経済効果(需要増加額)は、2017

(注2) 経済規模が1.6倍に対して、雇用規模の拡大は1.02倍になる理由は、成田市公表値の算出方法が非公表なため正確には分からないが、(1)推計に使用した産業連関表が今回のものと異なっている。(2)産業連関表に投入する項目毎の金額が今回の想定とは異なる、ことなどが考えられる。

